

牛の節足動物媒介ウイルスにご注意を！

かほだより
2020年6月3日
〈No.4〉

岐阜県富山県など

節足動物媒介(アルボ)ウイルスに対する調査で県内・隣県にて抗体陽性が確認されました！

アルボウイルスによる届出伝染病はアカバネ病、イバラキ病、チュウザン病、牛流行熱、アイノウイルス感染症 等です。



ウシヌカカ (*Culicoides oxystoma*)
体長1~3mm
日本における牛の主要アルボウイルス媒介種

■ ウイルスの共通点

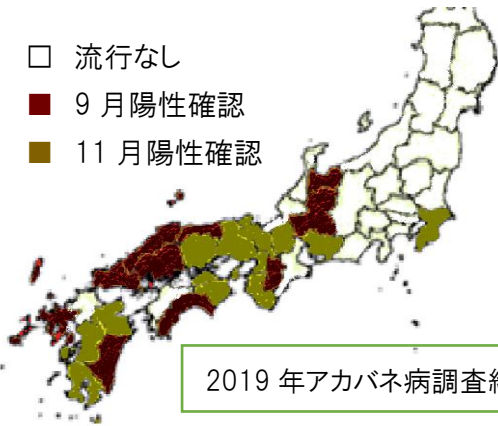
ヌカカ(ウシヌカカ)、カ、ダニなど節足動物によって媒介されます。

これらの活動期である夏から秋にかけて感染が成立します。

感染すると母牛にはほとんど症状は認めませんが、流産や死産、早産、

生まれてくる子牛に体形異常、虚弱、盲目、運動失調、吸引力不足などが認められます。

- 流行なし
- 9月陽性確認
- 11月陽性確認

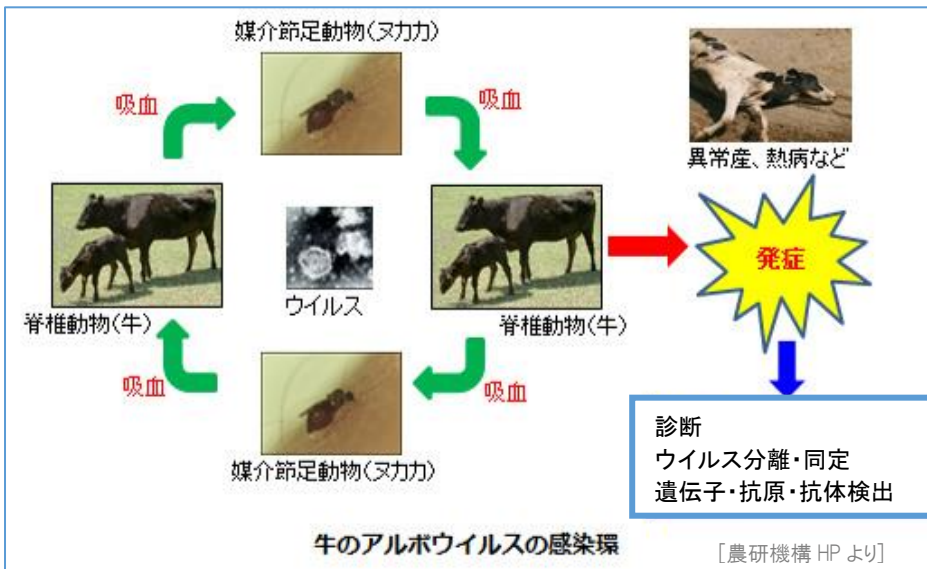


2019年アカバネ病調査結果

2019年のアカバネ病の調査(おとり牛を用いた抗体検査)で、県内(下伊那地域)及び近隣県(富山県、岐阜県、愛知県等)でも流行が確認されました。この調査は国内の流行状況を把握するためにサーベイランス事業により全国で毎年実施しています。アカバネ病の他に、イバラキ病は九州等で流行が確認されています。

なお、牛流行熱、アイノウイルス感染症の流行は確認されませんでした。

■ 詳細は「農研機構」「おとり牛」
または QR コードで検索！



予防はワクチン！

まだ間に合う

流行期前のワクチン接種により、異常産等※の予防ができます。節足動物の活動開始以前である4月~6月に接種します。

子牛の損失だけではなく泌乳量低下や空胎期間の延長、分娩事故による母牛の損耗など、肉用繁殖牛だけでなく乳用牛へもワクチン接種を推奨します。

※アカバネ病、イバラキ病、チュウザン病、牛流行熱、アイノウイルス感染症

ONE NAGANO

みんなでひとつに がんばろう信州

Working together to support one another

長野県松本家畜保健衛生所

〒390-0851 長野県松本市島内西川原 6931

☎ 0263-47-3223 FAX 0263-47-0101

Mail matsukachiku@pref.nagano.lg.jp

中信家畜産物衛生指導協会 ☎0263-47-6789